

# 施策評価シート

記載年月	平成30年9月
対象年度	平成29年度

## 1 施策の名称・めざす姿

施策名	028	緑のまちづくりの推進				
総合計画	基本目標	安全で快適に暮らせる持続可能なまち（生活・環境）			担当部署	都市整備部 公園緑地課
	基本施策	02	緑の整備			
めざす姿	市内のまとまった樹林や地域に残る樹木等が保全されるとともに、身近な生活空間の緑が増え、水と緑が輝く潤いのあるまちが形成されています。また、水と緑が持つ様々な機能を高めるため、市民や事業者と市が協働して緑のまちづくりに取り組んでいます。					

## 2 事業費・人件費等の推移

(単位：円、人)

	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
<b>(事業費)</b>						
当初予算額	452,805,000	456,405,000	523,127,000	599,609,000	749,434,000	962,340,000
国庫支出金	0	0	0	15,000,000	10,000,000	56,500,000
都支出金	0	0	0	0	0	25,000,000
市債	0	0	0	0	0	0
その他	75,178,000	13,053,000	13,763,000	14,623,000	14,773,000	16,579,000
一般財源	377,627,000	443,352,000	509,364,000	569,986,000	724,661,000	864,261,000
予算現額	444,635,000	491,560,000	588,798,000	670,772,000	767,497,000	0
決算額	429,016,096	479,813,591	571,703,678	643,030,811	717,731,450	0
国庫支出金	0	0	0	11,000,000	5,000,000	0
都支出金	0	0	0	4,050,000	0	0
市債	0	0	0	0	0	0
その他	16,733,340	13,298,965	14,691,256	16,579,149	17,185,494	0
一般財源	412,282,756	466,514,626	557,012,422	611,401,662	695,545,956	0
執行率	96.5	97.6	97.1	95.9	93.5	0.0
<b>(人件費)</b>						
職員数	14.34	15.60	16.61	15.61	15.61	0.00
職員人件費	114,610,557	118,774,578	129,412,546	121,640,972	119,910,151	0
嘱託員数	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00
嘱託員人件費	0	0	0	0	3,120,400	0
<b>(間接経費)</b>						
間接経費	3,558,981	3,316,770	3,742,327	3,277,658	4,896,745	0
総コスト	547,185,634	601,904,939	704,858,551	767,949,441	845,658,746	0

## 3 指標実績の推移等

指標名	基準値 (単位)		実績の推移				H29年度 目標値
			H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
市の面積に対する緑地の割合	24.7	実績	24.8	24.6	24.5	24.5	25.6
	%	達成率	96.9	96.1	95.7	95.7	
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					
		実績					
		達成率					

### 指標の分析

公共の公園、緑地等及び民有地の緑地の総面積を市全体の面積の割合として、数値化し指標としたもの。目標値（緑地割合）達成のため、公共では、西原四丁目公園を開設し、また、四谷さくら公園拡張整備を進めている。民有地では、地域まちづくり条例に基づく緑化指導による緑化を進めているものの、農業従事者不足に伴う生産緑地の減少が大きく、緑地割合は昨年度と同等であった。

## 4 施策の進ちょく状況

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度
進ちょく状況	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	遅れが生じている。このままでは目標達成が難しい	やや遅れているが、概ね順調
達成できている点	市立新田公園を開設し、広場や緑地なども拡張され、緑地の割合は増加している。また、地域まちづくり条例に基づく緑化協議を行い、民有地においても適性に緑化が行われている。	都立公園の開設面積の増加など、市内の公園緑地等の面積は年々増加している。また、地域まちづくり条例に基づく緑化協議を行い、民有地においても適性に緑化が行われている。	樹木の剪定や遊具の改修など、公園緑地等の適正な維持管理を推進し、より質の高い緑の空間確保に努めた。また、地域まちづくり条例に基づく緑化協議を行い、民有地の緑化が促進されている。	樹木の剪定や遊具の改修など、公園緑地等の適正な維持管理を推進し、より質の高い緑の空間確保に努めた。また、地域まちづくり条例に基づく緑化協議を行い、民有地の緑化が促進されている。
達成できていない点	市内に350箇所の公園・緑地が配置されており、より質の高い空間の確保が求められていることから、量から質への転換を図っており、量的な増加が達成できていない。	公園緑地等の適正な維持管理を推進、より質の高い空間の確保が求められていることから、量的な増加が達成できていない。また、緑のまちづくりの一環である、生産緑地の減少も要因となっている。	中期的に公園の新設及び拡張整備を進めてはいるが、生産緑地及び借地公園・緑地等の面積が減少し、指標に掲げている、緑地の量的な増加に至っていない。	中期的に公園の新設及び拡張整備を進めてはいるが、生産緑地の面積が大きく減少し、指標に掲げている、緑地の量的な増加に至っていない。

## 5 施策の評価

## これまでの主な取組と成果

高度成長期の急激な都市化によって失われた自然の緑について、新たに都市緑地として再整備するため、緑の総量の確保を最重点項目とし、公園や緑地を市内各所に整備するとともに、まちかどの小スペースを有効活用した緑の空間づくりのため、スポットパークや公共花壇を設け、緑豊かで潤いのあるまちなみづくりを促進してきた。

## 今後の課題、状況や市民ニーズの変化

市民の生活スタイルの変化や価値観の多様化が進むなか、より質の高い緑の空間づくりが求められており、特に、樹木等の緑の環境づくりにあっては、その総量を増やすことから、個々の緑の質の向上に向け、地域特性を生かした個性豊かな緑のまちづくりを進めていくことが求められている。

## 今後の展開

引き続き民有地においては、条例に基づく緑化協議によって緑化の推進を図っていく。また、インフラ管理ボランティア制度を活用し、市民及び事業者との協働による安全で安心な公園・緑地の維持管理を促進し、市民が親しみを持つ空間づくりを行っていかねばならない。また、「緑の基本計画」の改訂作業を行っており、府中市の緑の将来像が描かれることから、計画に沿った事業を行っていく。

## 6 主要な事務事業の進行管理

事務事業名称	4か年事業（上段：計画、下段：評価）				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
まちかど空間緑化推進事業	季節に応じた草花を植付け、市民の目を楽しませるとい手法から、地域の特性を残しつつ、宿根タイプの草花を植付け、次年度に継続させる手法に切り替え、植付け回数を減少させる。	季節に応じた草花を植付け、市民の目を楽しませるとい手法から、地域特性を残しつつ、宿根タイプの草花を植付け、継続させる手法に切り替え、経費の節減を図る。今後とも「地域の庭」としての緑化を、市民や事業者との協働により適切に管理し、親しまれる空間を維持していく。	公共花壇や市民花壇を「地域の庭」としての緑化を、市民や事業者との協働により適切に管理し、多くの人に親しまれる空間を維持していく。また、法制度に基づく緑化協議を行い、地域における緑地の確保、推進を図っていく。	公共花壇や市民花壇を「地域の庭」としての緑化を、市民や事業者との協働により適切に管理し、多くの人に親しまれる空間を維持していく。また、法制度に基づく緑化協議を行い、地域における緑地の確保、推進を図っていく。	
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	
	所管部署	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課
	事業種別	公共花壇については、財政状況により、河川敷の花壇は中止し、品種の削減など全体を縮小する方向となった。	公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を活かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進するとともに、適切な維持管理とともに、適切な維持管理において、各地域での市民や事業者との協働による活動が行われ、多くの人に親しまれる空間として機能している。	公共花壇及び市民花壇は、地域の特性を活かした季節の草花を植付け、地域の庭としての緑化を推進するとともに、地域の市民及び事業者との協働による活動が行われ、多くの人に親しまれる緑の空間として機能している。	公共花壇・市民花壇とも、地域の特性を生かし季節に応じた草花を植付け、地域の庭として緑化の普及を推進し、花壇の適切な維持管理において、各地域で市民・事業者との協働による活動が行われ、多くの人に親しまれる空間として、質の向上にも取り組んだ。
	4か年事業費計(単位:千円)	63,280			
公園緑地等維持管理事業	府中市インフラ管理ボランティア制度実施要領が制定され、厳しい財政状況のなかで、市と市民の協働の管理を促進することにより、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性を確保することを推進するため、説明会などを実施し制度の拡充を図る。	公園・緑地において、予防保全型管理に切り替え、公園樹木の安全対策を含め、適正な維持管理に努めるとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用し、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度への登録を引き続き働きかける。	公園・緑地において、予防保全型管理に切り替え、公園樹木の安全対策を含め、適正な維持管理に努めるとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用し、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度への登録を引き続き働きかける。	公園・緑地において、予防保全型管理に切り替え、公園樹木の安全対策を含め、適正な維持管理に努めるとともに、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度を活用し、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性の確保を推進するため、制度への登録を引き続き働きかける。	
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	
	所管部署	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課
	事業種別	財政状況から、市民要望に適切に対応できない部分もあったが、安全で安心に利用いただける公園・緑地の維持管理に取組み、状況改善を図った。インフラ管理ボランティア制度「府中まちなかきらら」の説明会を実施するなど、市民が親しみを持ち、施設の継続的な安全性の確保を推進した。	予防保全型の管理へ切り替えを推進し、公園樹木の安全対策などを行い、苦情等は減少したが、全施設の適切な維持管理には至らない状況にあり、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度の更なる活用、樹木の間引き、遊具の更新、公園施設等の見直しに取り組む必要がある。	公園施設等の適正な維持管理を推進するため、開設から長期経過している公園から重点的に遊具、樹木等の安全対策を実施している。今後は、更なるインフラ管理ボランティアの活用、樹木の間引き、遊具の更新などに取り組む必要がある。	公園・緑地等の適正な維持管理に努めたが、全施設に対し適切な維持管理ができていない状況にあり、市民協働によるインフラ管理ボランティア制度の活用、樹木の間引き、遊具の更新等、公園施設等の見直しに取り組んでいく必要がある。
	4か年事業費計(単位:千円)	1,525,816			
公園緑地等整備事業	市民の生活スタイルの変化に伴い、より質の高い空間の確保が求められ、防災機能の向上、施設の充実等、緑のまちづくりの考え方を量から質へと転換していく。また、四谷さくら公園の拡張整備など、地域の特性に合わせた合わせた公園・緑地の整備の取組みをより進めていく。	インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化を図ると共に、防災機能の向上、施設の充実など、緑のまちづくりの考え方を量から質へと転換していく。四谷さくら公園拡張整備については、引き続き市民協働による公園づくりを進め、地域の特色を生かした整備計画を立案する。	インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化を図ると共に、防災機能の向上、施設の充実など、適切な維持管理など、緑のまちづくりの考え方を量から質へと転換していく。	インフラマネジメント計画に基づく、公園施設等の長寿命化を図ると共に、防災機能の向上、施設の充実など、適切な維持管理など、緑のまちづくりの考え方を量から質へと転換していく。	
	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	【進捗状況】 やや遅れているが、概ね順調	
	所管部署	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課	都市整備部 公園緑地課
	事業種別	既存の公園施設等に対し、適切な補修作業を行うことにより、防災機能の向上、施設の充実、インフラマネジメント計画に基づく長寿命化を図った。また、四谷さくら公園の拡張整備については、近隣住民とのワークショップを4回開催し、市民要望を取り入れた3つの基本方針案をまとめた。	既設の公園施設等に、インフラマネジメント計画に基づき、適切な補修作業や施設の充実、防災機能の向上など質の向上に努めた。また、四谷さくら公園拡張整備及び西原町4丁目公園については、市民協働による公園づくりを進め、地域の特色や要望を生かした基本計画の方針をまとめた。	インフラマネジメント計画に基づき、公園施設等長寿命化計画を策定に併せて、防災機能の付加など、充実した施設整備に努めた。また、四谷さくら公園の拡張や西原町の新設公園について、引き続き市民協働による公園づくりを進め、地域の特色を生かした整備計画を立案した。	施設の充実、適切な維持管理など、安心安全な公園作りのため、公園・緑道の整備・補修を行った。西原町四丁目公園の築造工事が行われ、平成30年3月末に開園した。開業から25年以上経過した153公園のうち、本年度は51公園の公園施設長寿命化計画を策定した。
	4か年事業費計(単位:千円)	0			

※4か年事業費計は、第6次府中市総合計画策定時に算出したもので、今後の予算編成等により、実際の予算額と差が生じる場合があります。また、工事等に関する部分は、経常的経費とは異なるため、算定から除いています。

## 7 構成事務事業の評価

(単位：円)

事務事業名	事業種別	人件費事業	H29年度		H30年度 当初予算額	事務事業の概要	事務事業 評価/ 総合評価	
			当初予算額	決算額				
1 民有緑地保全支援事業	30		6,490,000	6,288,925	6,555,000	良好な自然環境の保護又は美観風致を維持するため、一定基準を満たす樹木等の保存を奨励する	B	3
2 まちかど空間緑化推進事業	30		11,924,000	11,336,255	11,904,000	公共花壇の適切な維持管理及び市民花壇への花苗の提供	B	1
3 公園緑地等維持管理事業	30		605,405,000	573,367,112	650,231,000	公園や緑地などの維持・管理	B	1
4 公園緑地等整備事業	30		117,825,000	119,550,758	288,445,000	既存の公園等を生かし、水と緑のネットワークの形成を中心とした整備を進める	B	1
5 緑の基本計画策定事業	10		7,790,000	7,188,400	5,205,000	緑のまちづくりを推進するための指針となる基本計画を策定する	C	1
6 緑化指導事業	30	○	0	0	0	府中市地域まちづくり条例等に基づく緑化指導	B	1
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
合 計			749,434,000	717,731,450	962,340,000			